

様 式 F - 7 - 2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名 若手研究(B) 4. 補助事業期間 平成23年度～平成27年度
5. 課題番号

2	3	7	0	0	1	1	3
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 集合知による情報の信頼度算出手法

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 3 8 8 1 1 1	スズキ ユウ 鈴木 優	情報科学研究科	特任准教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名

9. 研究実績の概要

Web上のデータは、多様性の増大と情報量の爆発が起きている。これは主に、UGC(User Generated Contents) が容易に生成可能となったことに起因する。一般に UGC の情報は質の点で玉石混淆であるが、書籍のように十分推敲された情報と比較すると質が相対的に低下している点が問題である。本研究課題では、Web上で公開されている情報の外部要因、内部要因を用いることによって、爆発的に増大し続けているWeb上のデータから質の高い情報を抽出するための基盤技術として、外部要因、内部要因の分析、体系化技術、統合利活用技術について実用的な時間で計算可能であるアルゴリズムの開発を行っている。平成23年度は、情報の外部要因に基づく方法に絞って研究を行った。つまり、情報そのものに対する解析は行わずに、その情報に関する外部の情報だけを利用して情報の質を測定する方法を構築した。本年度は特に、Wikipedia における情報の編集履歴を用いた質の計測を行った。Wikipedia とは、不特定多数の著者によるWeb上の百科事典であるが、誰でも記述を行うことができるという性質上、高品質な記述と低品質な記述が混在しているという問題がある。Wikipedia 上において、質の高い情報は数多くの他の著者の編集において削除されることは少ない。一方、質の低い著者は他の著者によって削除される。この性質を利用することによって、情報の編集履歴から記述に対して質を算出した上で、著者の信頼度の算出を行った。

10. キーワード

- (1) 集合知 (2) Wikipedia (3) 質 (4) _____
 (5) _____ (6) _____ (7) _____ (8) _____

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

11. 研究発表

(雑誌論文) 計(0)件/うち査読付論文 計(0)件 (最終年度分)

/うち国際共著論文 計(0)件 (最終年度分) /うちオープンアクセス 計(0)件 (最終年度分)

著者名		論文標題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)						
オープンアクセス						

(学会発表) 計(4)件/うち招待講演 計(0)件 (最終年度分) /うち国際学会 計(2)件 (最終年度分)

発表者名		発表標題	
Hiromitsu Ohara, Yu Suzuki, Akiyo Nadamoto		Detection of Missing Tweets based on Browsing Interval and Topic Granularity	
学会等名	発表年月日	発表場所	
Proceedings of iiWAS2015(国際学会)	2015年12月11日～ 2015年12月13日	ベルギー, ブリュッセル	

発表者名		発表標題	
芥子 育雄, 鈴木 優, 吉野 幸一郎, 大原 一人, 向井 理朗, 中村 哲		単語・パラグラフの分散表現を用いたTwitterからの日本語評判情報抽出	
学会等名	発表年月日	発表場所	
データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム (DEIM)	2016年02月29日～ 2016年03月02日	ヒルトン福岡シーホーク, 福岡県福岡市	

発表者名	発表標題	
Yu Suzuki, Satoshi Nakamura	Assessing the Quality of Wikipedia Editors through Crowdsourcing	
学会等名	発表年月日	発表場所
Proceedings of Wiki Workshop 2016 in conjunction with WWW 2016(国際学会)	2016年04月12日	カナダ, モントリオール

発表者名	発表標題	
前田若菜, 鈴木優, 吉野幸一郎, 中村哲	ソーシャルメディアにおける非構造化テキストデータの k-匿名化によるプライバシー保護	
学会等名	発表年月日	発表場所
情報処理学会データベースシステム研究会	2015年11月26日 ~ 2015年11月26日	芝浦工業大学, 東京

〔図書〕計(0)件(最終年度分)

著者名	出版社		
書名		発行年	総ページ数

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕計(0)件(最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件 (最終年度分)

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

13. 科研費を使用して開催した国際研究集会

(国際研究集会) 計(0)件 (最終年度分)

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

14. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究: -

15. 備考

--